



# 芹沢銈介の四季

2018年4月10日(火) ⇒ 7月1日(日)

芹沢が愛した言葉、  
「春夏秋冬」。



●上の作品：昭和27(1952)年6月の型染カレンダー

●下の作品：左から「落葉文ハンドバッグ」、「波文飾り扇」、「雪国の子ども」(『型染小品集第二』より)

静岡市立芹沢銈介美術館

〒422-8033 静岡市駿河区登呂5-10-5 TEL054-282-5522 www.seribi.jp



● 芹沢銈介「落葉文着物」(1953 部分)



● 芹沢銈介「四季文風炉先屏風」(1936 部分)



● 芹沢銈介デザインの葉書 (芹沢染織研究所製)



● 芹沢銈介デザインのうちわ (芹沢染織研究所製)



● 芹沢銈介「布文字春夏秋冬二曲屏風」(一九六五)

芹沢銈介といえば「春夏秋冬」の四文字が頭に浮かぶほど、芹沢は繰り返し四季を作品の主題にしました。芹沢にとって「春夏秋冬」とは、季節ごとに大きく変化する日本の美しい自然、そしてその中に暮らす人々の喜びを意味しているのでしょう。

四季を主題とした作品には、「春夏秋冬文夜具地」のように「春夏秋冬」の漢字四字で表現したもの、また「文字入四季文二曲屏風」のように四季の文字や模様をまとめたもの、「落葉文着物」のように四季いずれかをとりあげたものがあります。本展覧会では、こうした四季を主題とした芹沢の作品 150 点を展示します。

展示室の後半 3 室には、芹沢銈介の工芸コレクションの中から、三春人形、相良土人形、花巻土人形など、日本の愛らしい郷土玩具 70 点を展示します。

四季をテーマとした芹沢銈介の世界を、どうぞ心ゆくまでお楽しみください。



● 芹沢銈介収集  
花巻土人形「だるま」(若手県)



● 芹沢銈介収集  
「木の葉猿」(熊本県)

- 開館時間 9:00 ~ 16:30 (全館閉館)
- 休館日 毎週月曜日(4/30を除く)、5/1
- 観覧料 一般420円 / 高校生・大学生250円 / 小学生・中学生100円 / 未就学児無料  
(団体割引30名以上50円引き、小・中学生は20円引き)  
※静岡市内に在住または静岡市内の小・中学校に在学中の小・中学生は無料  
※静岡市内に在住の70歳以上の方、身体障がい者手帳等の交付を受けている方とその介助者1名は無料
- 交通 ● バス……静岡駅南口、しずてつジャストライン 22 番バスのりばから、「登呂遺跡」行きに乗車、終点「登呂遺跡」にて下車(約 12 分)、徒歩 4 分  
● タクシー……静岡駅南口から登呂公園へ、約 10 分 ● 東名高速……静岡インターより約 10 分  
● 駐車場……登呂遺跡南側の駐車場をご利用ください。普通乗用車 400 円(1 日)



◎会期中、さまざまなイベントがあります。ホームページをごらんいただくか、当館にお問い合わせください。(電話 054-282-5522)

**静岡市立芹沢銈介美術館**  
〒422-8033 静岡市駿河区登呂5-10-5 TEL054-282-5522 www.seribi.jp